

## 防災セミナー2025

# 東北地方整備局「防災グループ」の役割

令和 8年2月25日

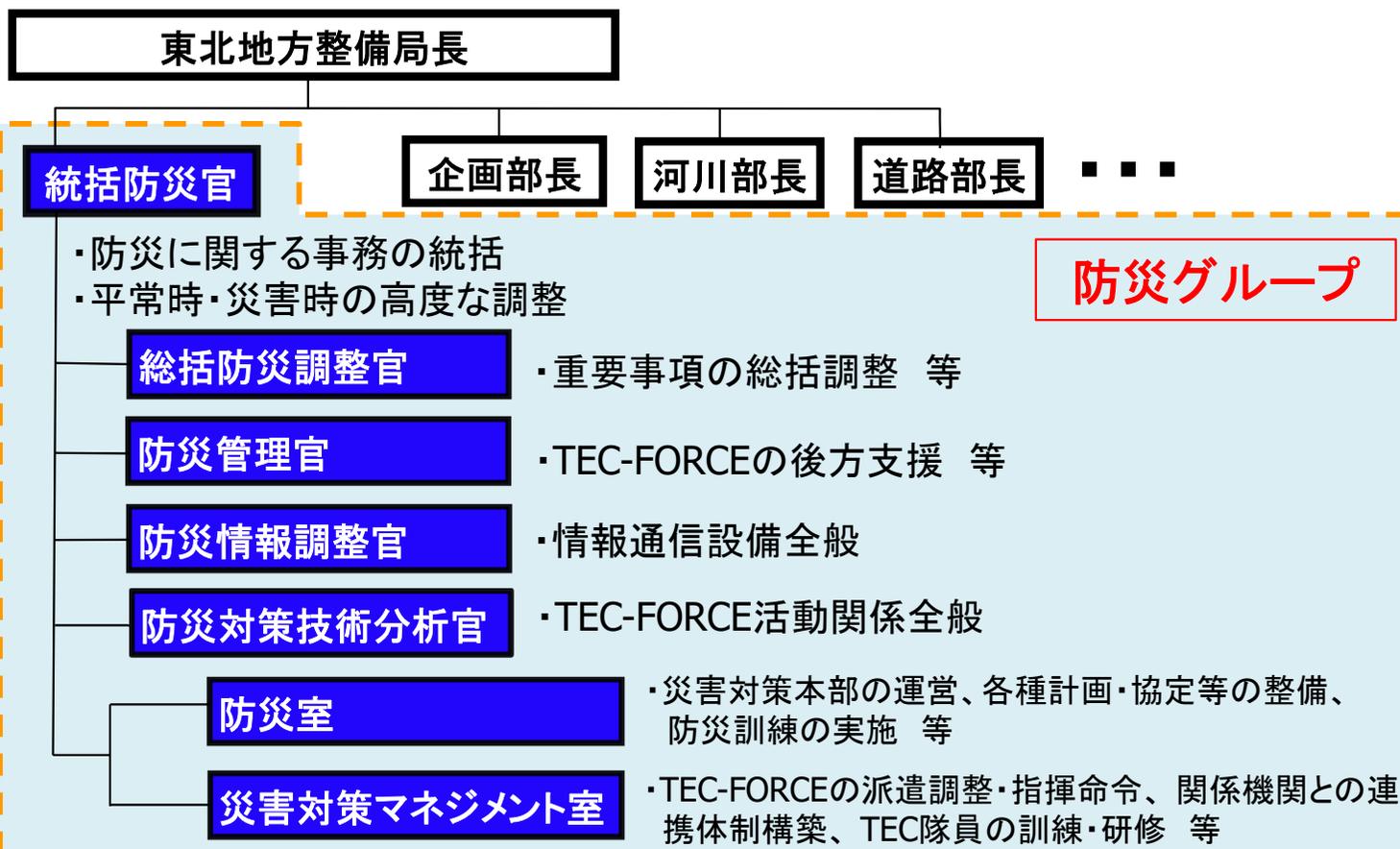


東北地方整備局 災害対策マネジメント室

# 【目次】

1. <u>東北地方整備局の防災グループ</u>	.....	3
2. <u>災害対策本部の設置状況</u>	.....	4
3. <u>自治体との連携・支援(ホットライン・リエゾン・TEC-FORCE等)</u>	.....	5
4. <u>大地震におけるTEC-FORCEによる備え</u>	.....	13
・首都直下地震におけるTEC-FORCE応援計画(H31.3)		
・南海トラフ地震におけるTEC-FORCE応援計画(R3.6)		
・日本海溝・千島海溝地震におけるTEC-FORCE受援計画・初動対応マニュアル(R7.3)		
5. <u>災害対策機械等の配備</u>	.....	16
6. <u>防災関係機関等との連携体制</u>	.....	22
7. <u>近年の災害対応事例</u>	.....	23
・R6.7秋田山形豪雨災害		
・R6.1能登半島地震		
・R7年度12末時点までの対応状況		

- 平成31年4月1日、頻発化・激甚化する自然災害へ迅速かつ円滑に対応することを目的に東北地方整備局に“**防災専属**”の組織が設置されました。
- 迅速かつ円滑な災害応急対応のために、東北地方整備局の直属とし、**部長級の「統括防災官」をヘッドとする防災専属19名の組織を設置(令和7年度時点)**しています。
- これにより、災害時における**TEC-FORCEの派遣調整・指揮命令体制を強化**するとともに、平時から自治体や警察、消防、自衛隊といった関係機関との緊密な連携体制の構築、広域災害が発生した場合の他地整との調整・連携強化などを行っていきます。



災害対策本部(東北地方整備局)

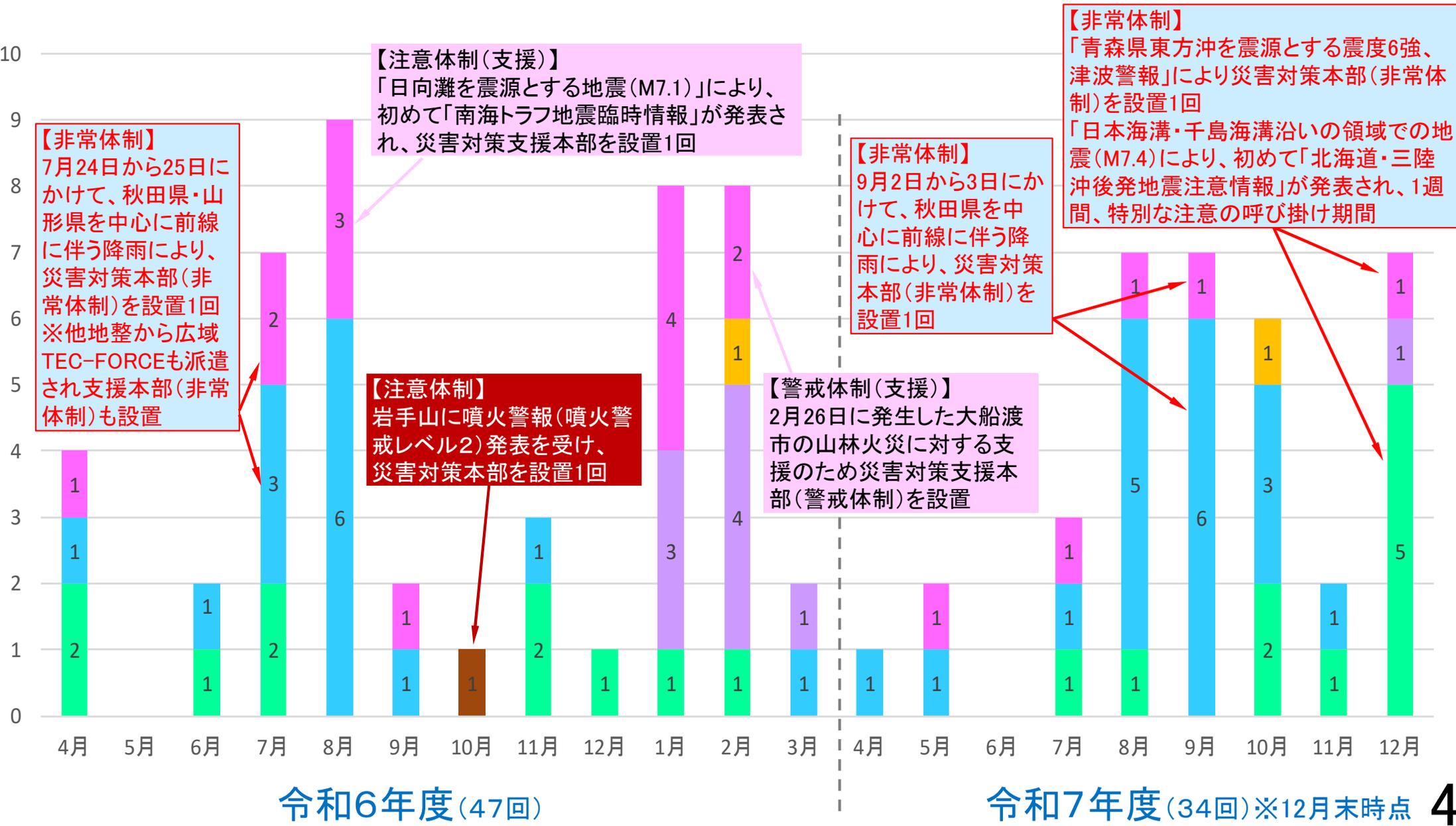


TEC-FORCEによる排水活動状況

# 災害対策本部の設置状況(R6.4~R7.12設置回数)

令和6・7年度体制設置回数(月別・災害別)

■地震 ■風水害 ■雪害 ■火山 ■その他 ■災害支援



**【非常体制】**  
7月24日から25日にかけて、秋田県・山形県を中心に前線に伴う降雨により、災害対策本部(非常体制)を設置1回  
※他地整から広域TEC-FORCEも派遣され支援本部(非常体制)も設置

**【注意体制(支援)】**  
「日向灘を震源とする地震(M7.1)」により、初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、災害対策支援本部を設置1回

**【注意体制】**  
岩手山に噴火警報(噴火警戒レベル2)発表を受け、災害対策本部を設置1回

**【警戒体制(支援)】**  
2月26日に発生した大船渡市の山林火災に対する支援のため災害対策支援本部(警戒体制)を設置

**【非常体制】**  
9月2日から3日にかけて、秋田県を中心に前線に伴う降雨により、災害対策本部(非常体制)を設置1回

**【非常体制】**  
「青森県東方沖を震源とする震度6強、津波警報」により災害対策本部(非常体制)を設置1回  
「日本海溝・千島海溝沿いの領域での地震(M7.4)により、初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表され、1週間、特別な注意の呼び掛け期間

令和6年度(47回)

令和7年度(34回) ※12月末時点 **4**

※同一事象で災害対策本部と災害対策支援本部が立ち上がった場合は、別カウントとして集計

- 災害時の自治体との連携・支援は、災害の場面に応じた複数の手段により、自治体に寄り添う対応をしています。

## 1. ホットライン

- 市町村長と国交省(事務所長等)との直接連絡を取れる体制のこと。
- 特に水害では、今後の危険性を直接伝えることで、避難指示等の判断に役立てて貰う。
- その他の災害においても、様々な情報交換や要請等を直接伺う。
- 事前防災や初期段階における情報交換としても活用。

## 2. リエゾン

- 国交省が被災自治体へ派遣する「災害対策現地情報連絡員」のこと。
- 語源はフランス語の「Liaison: 仲介、橋渡し役」。
- 情報収集や支援ニーズを把握し、自治体や関係機関と国交省のパイプ役として活動する。

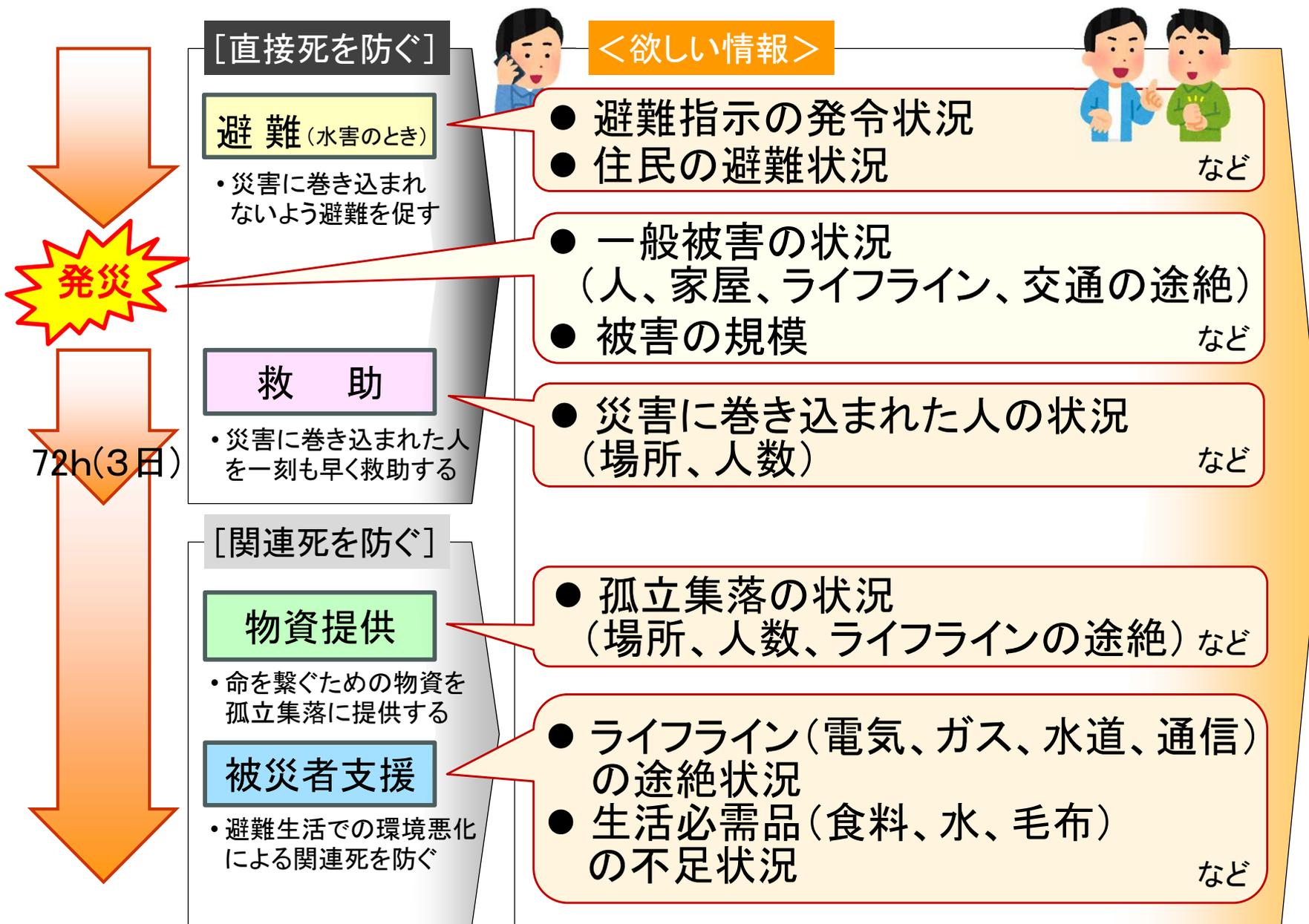


## 3. TEC-FORCE (テックフォース)

- 国交省が被災自治体へ派遣する「緊急災害対策派遣隊」のこと。
- リエゾンが把握した被災自治体のニーズに応じて被災状況調査、道路啓開や浸水解消などの応急復旧支援、災害復旧に向けた助言、災害対策機械・防災資機材の貸与を行う。



被害を軽減し、一人でも多くの命を守るために、住民目線で情報収集にあたる。



■ 被災地に最も近い存在である国土交通省は  
所掌にとらわれず、情報を収集する  
(国交省の所掌でない課題は、関係省庁が協力、連携して対応)

- TEC-FORCEは、効率的な活動を行うため、必要に応じ、地域別又は実施内容別に幾つかの班を構成します。
- 実施内容別の班構成は以下のとおりになっており、各班にロジ担当を随行させるなど、被災規模や被災形態に応じて、適切な班構成とします。

1. リエゾン

2. 先遣班

3. 先遣調査班

4. 現地支援班

5. 情報通信班

6. 高度技術指導班

7. 被災状況調査班

8. 応急対策班

9. 給水支援班

10. 広報班

11. 除雪情報班

12. 乗員保護班

13. 現場乗員保護班

14. ロジ担当



## リエゾンとしての活動

リエゾンは被災地方公共団体の支援ニーズを把握し、効果的な対策の早期実現へ向けて、役に立つよう動きます

- リエゾン※は、災害が発生又は発生するおそれのある場合に直ちに派遣され、被災した地方公共団体での情報収集や支援ニーズの把握を積極的に行います。
- リエゾンが被災した地方公共団体と地方整備局との太いパイプ役となって連絡調整にあたることにより、TEC-FORCEが迅速な応急対策等の支援を行うことができます。

### 被災した地方公共団体



- 被害情報や支援ニーズを把握
- TEC-FORCE活動や国土交通省の対応状況等を説明

支援要請内容  
の報告



リエゾンに  
よる調整

TEC-FORCEによる  
災害支援を実施



### 国土交通省（災害対策本部）



- リエゾンからの情報を総合的に判断し、最適な支援のためのTEC-FORCEを派遣

## ～被災状況調査班(広域調査グループ)～

- 災害対策用ヘリコプターにより、広域にわたる被災状況調査を実施。
- 全国の地方整備局で9機配備、地方整備局間で連携を図り被災状況調査を実施

### ■みちのく号 (東北地整)



東北地整合同庁舎屋上ヘリポート



搭乗者がリアルタイムで被災状況を報告



災害対策本部(東北地整)でリアルタイム配信

令和7年12月8日\_青森県東方沖を震源とする地震で活躍

### ■あおぞら号 (関東地整)



令和7年9月2日からの前線に伴う降雨による被害で活躍

### ■ほくりく号 (北陸地整)



令和7年7月30日\_カムチャッカ半島付近を中心とする地震で活躍



自治体へ防災ヘリ映像をリアルタイムで共有

## ～被災状況調査班（現地調査グループ）～

- TEC隊員による現地踏査により、公共土木施設等の被害状況を調査し、被災箇所の早期把握を実施。
- 被災状況調査班は、調査対象施設によって道路調査班、河川調査班、砂防調査班、港湾調査班、下水道調査班、土砂災害危険箇所調査班、被災建築物調査班、被災宅地危険度判定班等がある。
- H28年8月の台風10号災害より、UAV（ドローン）調査班の派遣も実施。



河川の被災箇所の最前線へ向かう隊員（平成28年台風10号・岩泉町）

## ～情報通信班～

○国が保有する衛星通信車、Ku-SAT (小型画像伝送装置)等の機材を活用し、被災地の映像情報配信や災害対策に係る被災地の通信回線を確保。

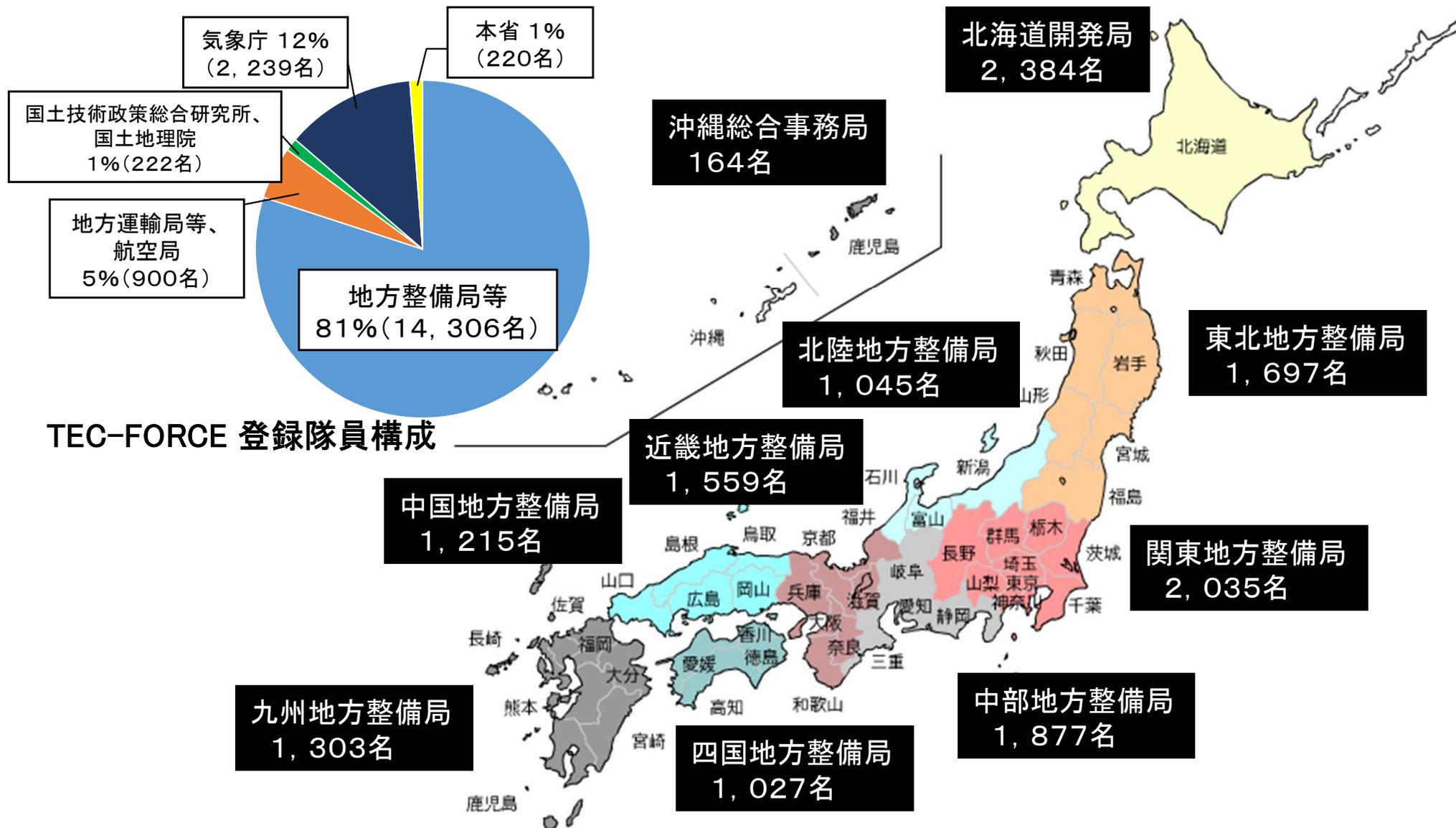


宮古市花原市地区の道路啓開現場に設置されたKu-SAT (平成28年 台風第10号)



福島県玉川村・鏡石町、宮城県丸森町での通信設備の設営状況 (令和元年 台風第19号)

○隊員は地方整備局等の職員を中心に**17,887名**が指名。災害の規模に応じて全国から被災地に出動。  
 (※令和7年4月時点)

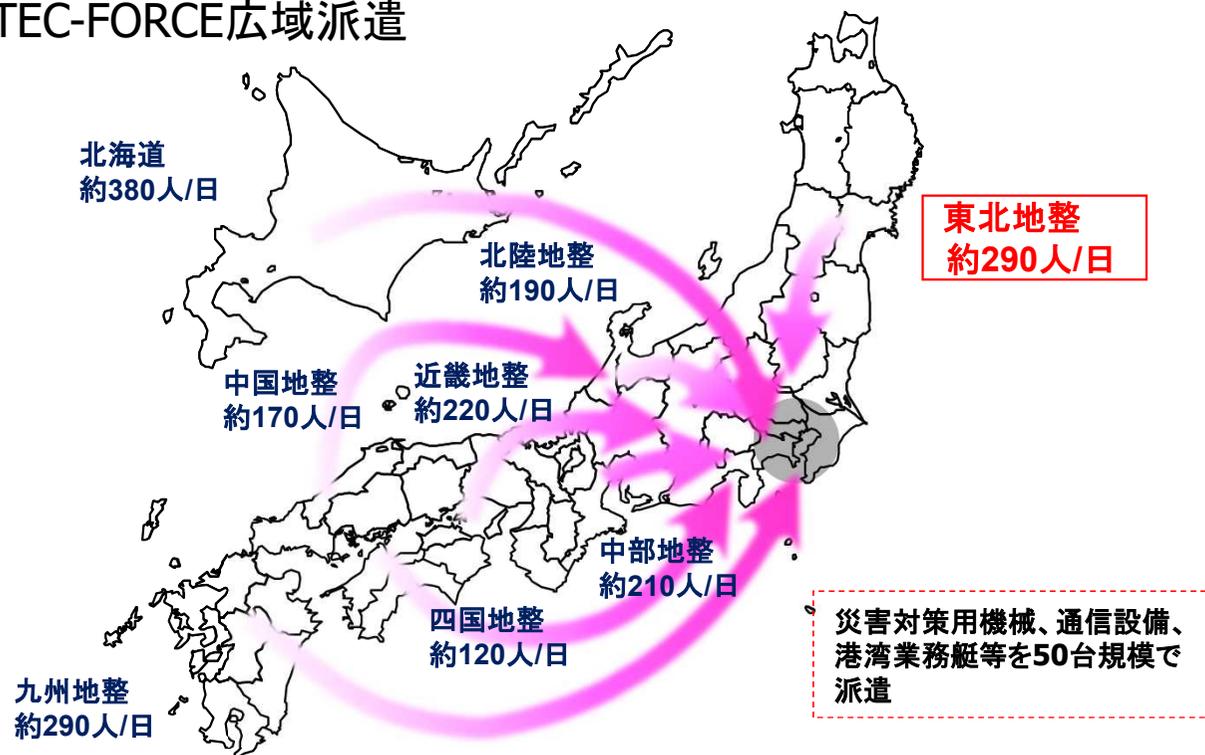


- 「首都直下地震におけるTEC-FORCE活動計画」(平成29年8月、国土交通省)
- 「首都直下地震におけるTEC-FORCE活動計画(応援計画)」(平成31年3月 東北地方整備局)  
⇒首都直下地震発生後、被災地域への迅速な応援活動を実施すべく各地整で応援計画を策定

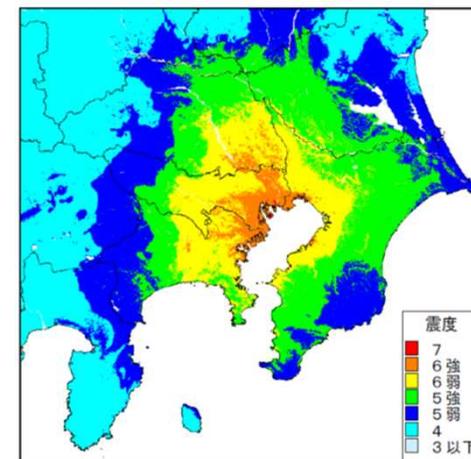
## ■初動対応を行う基準 (具体的な応急対策活動に関する計画: 中央防災会議幹事会より)

- ・ 東京23区の区域において震度6強以上が観測された場合
- ・ 東京23区の区域で震度6強以上の震度が観測されない場合でも、1都3県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)の区域において相当程度の被害が生じていることが見込まれる場合

## ■TEC-FORCE広域派遣



## ■対象災害



首都直下のM7クラスの地震のケースを想定

- ・ 都心南部直下地震
- ・ 震度6強(東京、埼玉、千葉、神奈川)
- ・ 震度6弱(茨城)

- 「南海トラフ地震におけるTEC-FORCE活動計画」(令和2年12月改訂(平成28年8月決定))国土交通省)
  - 「南海トラフ地震におけるTEC-FORCE活動計画(応援計画)」(令和3年6月策定 東北地方整備局)
- ⇒南海トラフ地震の発生後、被災地域への迅速な応援活動を実施すべく各地整で応援計画を策定

## ■初動対応を行う基準 (具体的な応急対策活動に関する計画: 中央防災会議幹事会より)

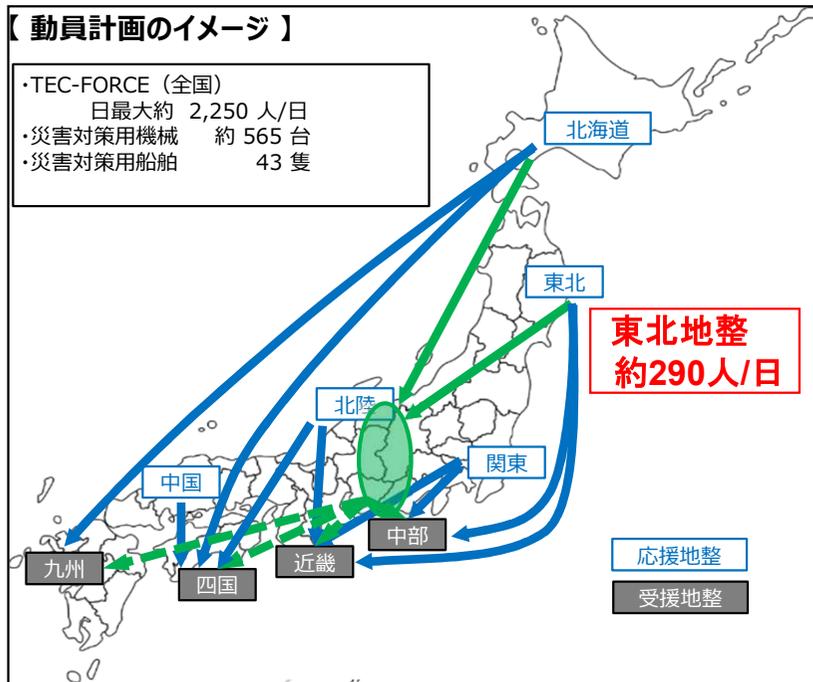
「南海トラフの巨大地震モデル検討会(内閣府)」において設定された想定震源断層域と重なる区域であり、下記のいずれかに該当する場合。

- 中部、近畿及び四国・九州の3地域のいずれにおいても震度6強以上の観測又は大津波警報の発表のいずれかがあった場合
- M8.0以上の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表される可能性がある場合

## ■TEC-FORCE広域派遣

### 【動員計画のイメージ】

- ・TEC-FORCE (全国)  
日最大約 2,250 人/日
- ・災害対策用機械 約 565 台
- ・災害対策用船舶 43 隻



東北地整  
約290人/日

### 東北地整からの派遣規模

- TEC-FORCE 約290人/日
- 災害対策用機械 約50台/日
- 港湾業務艇 4隻(最大)
- 災害対策用ヘリ 1機

### <広域派遣;自動発進>

出動判断基準により、被害ケースに応じて派遣先を決定

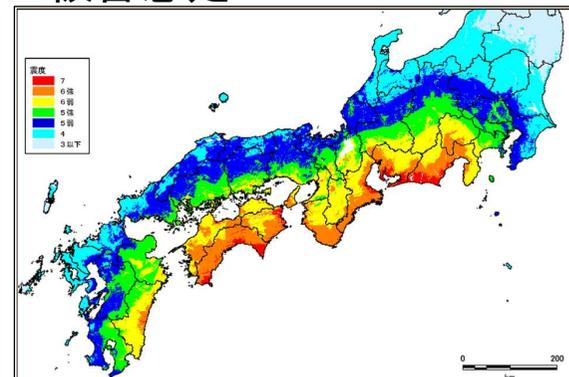
### <前進配備;自動発進>

中部・近畿地方の広域進出拠点に進出後、被害状況に応じて、本省の指示により派遣先を決定

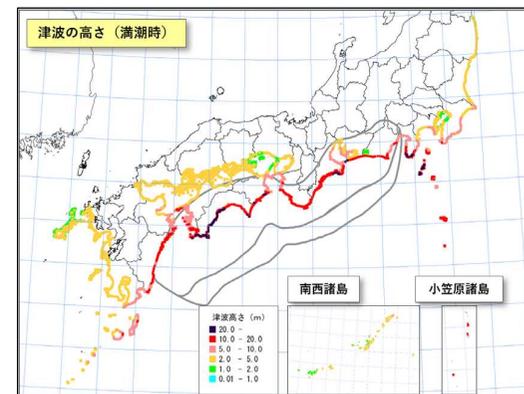
### <自動発進>

本省の指示を待たずに、出動判断基準により、直ちに派遣準備を開始し、速やかに受援地整に出動

## ■被害想定



【強震波形4ケースと経験的手法の震度の最大値の分布】



【全割れ全11ケースの最大包絡の津波高】

- 「日本海溝・千島海溝地震におけるTEC-FORCE活動計画」(令和6年3月決定 国土交通省)
  - 「日本海溝・千島海溝地震におけるTEC-FORCE活動計画(受援計画・初動対応マニュアル)」(令和7年3月策定東北地方整備局)
- ⇒地震の発生後、被災地域への迅速な応援活動を実施すべく各地整で応援計画を策定

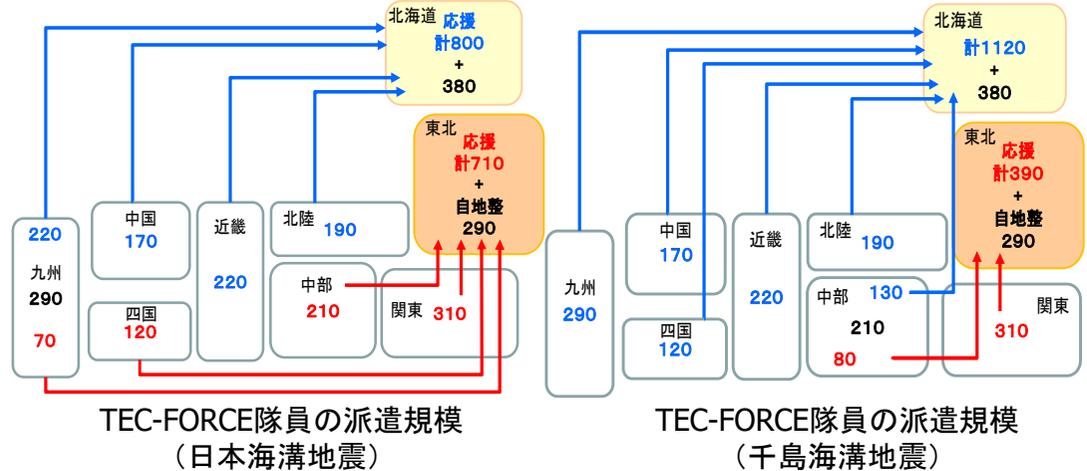
## ■初動対応を行う基準 (具体的な応急対策活動に関する計画:中央防災会議幹事会より)

「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会(内閣府)」において設定された想定震源断層域と重なる区域であり、下記のいずれかに該当する場合。

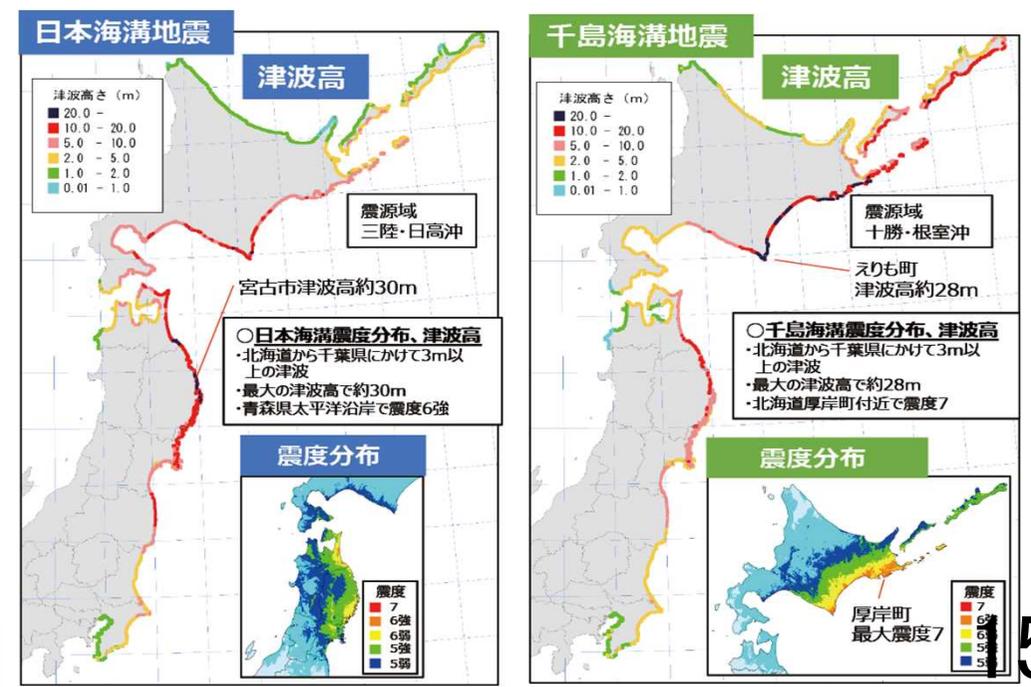
- **青森県、岩手県、宮城県**のいずれの地域においても**震度6弱以上の震度が観測され、かつ、1道6県**(北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県。以下同じ)のいずれの地域においても、**大津波警報の発表があった場合**
- **北海道**において、**震度6強以上の震度が観測され、かつ、1道6県**のいずれの地域においても、**大津波警報の発表があった場合**

## ■TEC-FORCE広域派遣

●巨大地震は2つの領域(日本海溝モデル・千島海溝モデル)で設定されており、それぞれが異なる被害規模となるため、それぞれの**受援計画**を策定



## ■被害想定 日本海溝地震・千島海溝地震の津波高・震度分布



## ■東北地整管内における応援派遣

**【直轄支援】 派遣人数:96人**  
 ・被災地域の国交省事務所が災害時にも継続すべき直轄業務を、事務所間で支援

## ■ 災害対策用機械を派遣し、迅速な情報収集、応急対策、復旧作業等を行う ■

近年多発している災害から国民の生命、財産を守ることや被害を最小限に食い止めるなど安全の確保のため、円滑な防災体制、迅速な災害復旧に資するため、災害対策用機械の配備・拡充を図っている。

災害時には速やかに現場へ災害対策用機械を出動させ、応急対策の指揮、情報連絡、復旧作業等を行っている。



平成23年3月 東日本大震災



平成27年9月関東・東北豪雨



<R7年4月1日現在配備回>

災害対策用機械・通信設備管理運営要領により東北地方整備局管内を4ブロックに分割し配備している。

## 災害対策用機材一覧 (情報通信系)

## 災害対策用機械一覧

総代河川国連事務所

18-4708	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
RO2-4744	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4737	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4736	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)

秋田河川国連事務所

24-4270	対策本部車(紅帽型)
RO2-4286	対策本部車(紅帽型)
RO2-4287	待機支援車(9灯式, トラック型)
A-C1201	衛星通信車(衛星通信装置付)
18-4251	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
21-4281	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4243	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4281	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
RO2-4281	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
30-4280	土のう生成機(自走式, 180巻/分)
BC-R0401	応急組立橋(スチール)幅2.40m×4m(1車線)
BC-R0402	応急組立橋(スチール)幅2.40m×4m(1車線)

湯沢河川国連事務所

19-4502	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
30-4240	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4252	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4262	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4274	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
BC-R0501	応急組立橋(スチール)幅2.50m×2車線
BC-R0501	応急組立橋(スチール)幅2.50m×2車線

酒田河川国連事務所

21-4292	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
RO2-4246	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4255	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-1292	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4279	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)

新庄河川事務所

24-4251	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4252	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4240	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 9P, DS)
RO2-4264	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4280	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)

山形河川国連事務所

19-4281	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
25-4259	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4245	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4263	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4264	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4244	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 10m, 8P, DS)
RO2-4263	照明車(1.8kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4277	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4278	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
11-1242	トンネル点検車(1灯式)

青森河川国連事務所

18-4292	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
24-4250	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4250	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4248	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4280	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
RO2-4268	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4269	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)

岩手河川国連事務所

RO2-4295	対策本部車(紅帽型)
19-4280	待機支援車(9灯式, バス型)
A-C1201	衛星通信車(衛星通信装置付)
22-4280	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 8m, 5P)
25-4251	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4254	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4255	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4240	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4248	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4250	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4241	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 10m, 8P, DS)
RO2-4242	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 10m, 8P, DS)
RO2-1280	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4257	照明車(1.8kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4270	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4280	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
A-C1101	分解対応型バックホウ(分解対応型(2.5m)) 遠隔操作式
RO2-4280	土のう生成機(自走式, 180巻/分)

南三陸沿岸国連事務所

RO2-1281	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
11-1240	トンネル点検車(1灯式)

北上川下流河川事務所

18-4291	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 6P)
18-4292	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 6P)
21-4290	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
23-4253	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
25-4256	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4257	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4258	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4242	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4251	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4243	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 10m, 8P, DS)
RO2-4256	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4259	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4260	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4261	照明車(1.2kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4272	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)

東北技術事務所

22-1290	対策本部車(紅帽型)
22-4270	対策本部車(紅帽型)
22-1281	待機支援車(9灯式, トラック型)
BC-C1001	衛星通信車(衛星通信装置付)
AC-R0200	Car-SAT(衛星通信装置付)
22-4260	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
22-4261	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
22-4262	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
22-4262	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
22-4261	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
22-4262	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
22-4263	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
22-4263	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
21-4290	分解対応型バックホウ(分解対応型(1.0m)) 遠隔操作式
RO2-4281	分解対応型バックホウ(分解対応型(1.0m)) 遠隔操作式
22-4290	土のう生成機(定置式, 360巻/分)
22-1240	橋梁点検車(自走式)
22-1240	橋梁点検車(自走式)
22-1241	橋梁点検車(自走式)
22-1242	橋梁点検車(自走式)
B-M0001	応急組立橋(スチール)幅2.40m
B-C0401	応急組立橋(スチール)幅2.40m×4m(1車線)
A-C0201	水中探査装置(最大使用水深140m)

仙台河川国連事務所

18-4514	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
25-4252	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4241	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4271	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
RO2-4272	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
14-1240	トンネル点検車(1灯式)

福島河川国連事務所

18-4280	対策本部車(紅帽型)
18-4281	待機支援車(9灯式, バス型)
A-C1101	衛星通信車(衛星通信装置付)
19-4508	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
23-4254	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P)
25-4260	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4261	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4262	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
25-4263	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4247	排水ポンプ車(30m <sup>3</sup> /min, 10m, 4P, DS)
RO2-4256	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 高揚程(20m), 12P, DS)
RO2-4245	排水ポンプ車(60m <sup>3</sup> /min, 10m, 8P, DS)
21-4293	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
RO2-4266	照明車(1.8kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4267	照明車(1.8kW×6灯, 10m, ボール, カマ付)
RO2-4281	照明車(1.8kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
17-4283	土のう生成機(定置式, 360巻/分)

磐城国連事務所

15-1280	照明車(2kW×6灯, 20m, プーム)
13-1240	トンネル点検車(1灯式)

郡山国連事務所

RO2-1280	照明車(1.2kW×6灯, 20m, プーム, カマ付)
----------	------------------------------

機械名称	数量	機材等名称	数量
防災ヘリコプター	1	可搬型Ku-SAT	19
Car-SAT	1	公共BB	8
対策本部車	6	i-RAS	20
待機支援車	4	K-λ(車載式)	555
衛星通信車	4	K-λ(ハンディ式)	577
排水ポンプ車	58	イリジウム携帯	10
照明車	38	特定小電力無線機	10
分解対応型バックホウ	2	携帯式GPS	19
土のう生成機	4	レーザー測距計	60
橋梁点検車	4	ウェアラブルカメラ	38
トンネル点検車	4		
応急組立橋	6		
水中探査装置	1		

## 派遣可能な災害対策用機械

### (1) 排水・水防支援

排水ポンプ車



土のう造成機



### (3) 通信確保支援

衛星通信車



Ku-SAT



### (2) 夜間作業支援

照明車



スターリンク(R7年3月に導入!)



## 派遣可能な災害対策用機械

### (4) 応急橋梁支援

応急組立橋



### (5) 無人施工支援

遠隔操縦分解型バックホウ



遠隔操縦



遠隔操縦＋分組

### (6) 現地対策本部、待機支援のスペース確保

対策本部車



待機支援車



## 派遣可能な災害対策用機械

### (7) 緊急調査支援

橋梁点検車(歩廊式)



橋梁点検車(バケット式)



水中探査装置



Car-SAT



防災対策ヘリコプター(みちのく号)



操縦士等含め最大16人搭乗可能

## 派遣可能な災害対策用機械

(8) 災害対策用船舶 **※東北所有で派遣可能な船舶は港湾業務艇4隻**

港湾業務艇(全国25隻、東北4隻)



海洋環境整備船(中部)



大型浚渫兼油回収船(中)



防災フロート(北海道)



# 防災関係機関等との連携体制

- 災害時の防災関係機関等との連携は、主に3つの分野での協定による連携を主としており、定期的な確認や訓練により、連携の実効性を確保しています。

## 1. 仙台合同庁舎B棟ヘリポートの利用

- ・陸上自衛隊 東北方面隊
- ・航空自衛隊 航空救難団
- ・警察庁 東北管区警察局
- ・海上保安庁 第二管区海上保安本部
- ・宮城県(消防ヘリ) ・仙台市(消防ヘリ)

## 2. 災害情報の共有(定点カメラ映像、ヘリ調査映像などの提供)

- ・陸上自衛隊 東北方面隊
- ・警察庁 東北管区警察局
- ・海上保安庁 第二管区海上保安本部
- ・東北運輸局 ・気象庁 仙台管区気象台
- ・青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島の各県及び一部市町村
- ・NHK、東北6県内の全民放局、J:COM(宮城県内の一部)

## 3. 災害時の応急対策業務(応急復旧工事の施工・被災調査協力)

- ・建設業関係(19団体)
- ・建設コンサルタント業、測量業関係(9団体)
- ・ロードサービス業関係(3団体)
- ・資機材レンタル業関係(1団体)

## 連携の実効性を確保する取組み

### 定期的な連絡体制確認

### 防災訓練時の連携



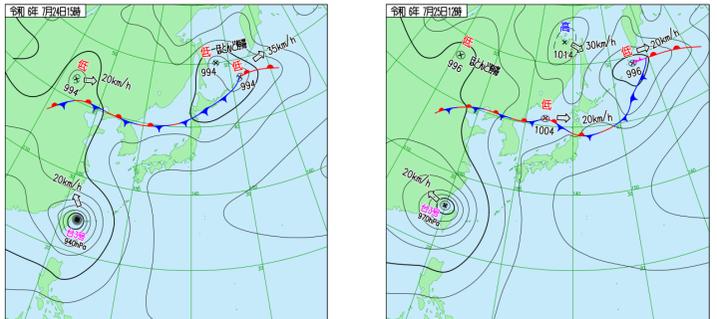
▲災害対策用ヘリから撮影された航空写真  
(令和6年7月 梅雨前線に伴う降雨/山形県)



▲協力業者による応急復旧状況(鮭川)

- 7月24日から梅雨前線が北日本に停滞し、台風3号から前線に向かって暖かく湿った空気が流入することにより前線が活発化、秋田県や山形県を中心に大雨となった
- 秋田県内の本荘由利地域や湯沢雄勝地域には24日(水)16:58に、大雨警報(土砂災害)を発表。山形県では線状降水帯が発生し、25日(木)13時07分、23時40分に庄内・最上地域に大雨特別警報が発表された
- 子吉川水系石沢川では氾濫危険水位を超過し、25日(木)2:10に石沢川(左岸1.0km)で堤防の決壊が発生⇒同時刻に非常体制を発令し、災害対策本部を設置
- 市町村長等と東北地方整備局が直接連絡を取り合うことができるホットラインを秋田・山形県庁及び2県の11市12町4村で構築し、災害情報の共有や要請を伺った
- 7月24日からリエゾンを秋田・山形県庁及び2県の5市5町3村に派遣し、被災地方公共団体の被害状況やニーズを把握し必要な支援を実施

## 7月24日～25日にかけての天気図[気象庁HP]



## 災害対策本部会議



▲災害対策本部会議



▲災害対策本部会議



▲酒田河国とのweb会議

## 秋田・山形県を中心とした雨雲レーダ [日本気象協会HP]



## 被災地方公共団体へのリエゾン派遣

のべ320名を派遣(7/24～8/19)



▲被災地方公共団体の被害状況やニーズを把握するためのリエゾン活動の様子

## 【記録的短時間大雨情報】

秋田県 北秋田市南部付近	約100mm/h(7月25日22時00分発表)
秋田県 上小阿仁村付近	約120mm/h(7月25日21時50分発表)
秋田県 五城目付近	約120mm/h(7月25日21時50分発表)
秋田県 上小阿仁村付近	約100mm/h(7月25日21時40分発表)
秋田県 五城目付近	約100mm/h(7月25日21時40分発表)
山形県 遊佐町付近	約110mm/h(7月25日9時10分発表)
山形県 酒田市北部付近	約100mm/h(7月25日9時10分発表)
山形県 酒田市南部付近	約100mm/h(7月25日9時00分発表)

## 被災状況



▲子吉川の堤防決壊



▲最上川の氾濫



▲E7日道東 路面陥没



▲国道47号 道路崩壊

- 7月29日から8月20日の23日間でのべ2,278人のTEC-FORCEを秋田・山形県内の自治体に派遣。東北地整の他に関東・北陸・中部の各地整による応援を含め各自治体における被災状況調査を実施
- 派遣先自治体(【秋田県】由利本荘市、上小阿仁村、【山形県】酒田市、新庄市、最上町、舟形町、庄内町、真室川町、戸沢村、鮭川村)
- 自治体要請による応急対策支援として、**排水ポンプ車、照明車**を秋田・山形県内に派遣
- 被災した施設の復旧に関する課題解決に向けた連携・協力を図るため、**関係機関による連絡調整会議を開催**

## ■先遣調査班の活動状況



## ■被災状況調査班の活動状況



## ■災害対策用機械の活動状況



## ■関係機関と連携した活動状況



## 【被災状況調査班による各自治体等への調査結果報告】



## 能登半島地震時の東北地方整備局では広域TEC-FORCEを派遣しました

※一部ほか地方整備局の写真が掲載されています。

### ■リエゾン・JETTによる情報支援

- リエゾンによる支援ニーズの聞き取り、被災情報の提供・収集等を実施



珠州市長へ支援ニーズの確認  
(石川県珠洲市)

### ■緊急復旧（道路啓開）

- 通行不能となった県市町管理道路の緊急復旧を行い、孤立解消や支援物資等の輸送路を確保



建設業者と連携した道路の緊急復旧  
(石川県輪島市)

### ■給水機能付散水車、可搬式浄水装置による給水支援

- 断水となった地域へ、給水機能付き散水車による給水支援を実施



給水機能付散水車による給水支援  
(石川県能登町)



ランドリーカーへの給水支援  
(石川県輪島市)

### ■照明車による電源支援

- 国交省所有の照明車を停電中の避難所へ接続、給電する電源支援を実施



避難所へ照明車からの電源支援  
(石川県輪島市)

### ■自治体が管理する公共施設の被災状況調査

- 道路、河川、砂防、港湾等の公共施設等の被害調査を実施
- 上空や車上から広域の被災状況調査を行い、調査映像を自治体と共有



道路の被災状況調査  
(石川県穴水町)



ドローンを使った被災状況調査  
(石川県珠洲市)

### ■被災建築物の応急危険度判定

- 現地で建築物の外観調査を実施し、倒壊の危険性などを判定



被災建築物応急危険度判定  
(石川県珠洲市)

### ■上下水道施設の復旧支援

- 国交省・厚労省職員が現地で連携し支援



七尾市長へ支援方針について説明  
(石川県輪島市)

### ■待機支援車を活用した活動支援

- 待機支援車を派遣し、宿泊場所として活用し復旧事業等への活動支援を実施



待機支援車による宿泊場所の確保  
(石川県輪島市)



# カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波対応

- 7月30日8時25分頃に発生したカムチャツカ半島付近を震源とする地震により、8時37分に青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県に津波注意報が発表され、9時40分には津波警報となった。
- 青森県、岩手県、宮城県、福島県の太平洋側の東北4県にまたがり津波警報が発表されたのは東日本大震災以来14年ぶり
- 管内の津波最大波は30日13時52分に久慈港で観測した1.3m
- 8月1日12時時点で、インフラ関係の被害なし(養殖いかだの被災報道あり)

### 災害対策本部体制の推移

- ・注意体制設置 令和7年7月30日(水) 8時37分
- ・警戒体制移行 令和7年7月30日(水) 9時40分
- ・注意体制移行 令和7年7月31日(木) 16時30分
- ・注意体制解除 令和7年8月 1日(金) 15時50分

- ホットラインは、4県及び47市町村と構築
- リエゾンは、青森県、岩手県、宮城県、福島県及びいわき市に延べ14名派遣し、本部会議や被災情報の把握に努めた
- 防災ヘリコプターによる被災状況調査を実施

### 防災ヘリコプターによる被災状況調査



▲防災ヘリコプターによる三陸沿岸の状況調査

### 広報班によるX投稿

国土交通省 東北地方整備局 @mit\_tohoku

カムチャツカ半島付近を震源とする地震に伴う津波において、ヘリコプターによる被災状況調査の結果、現時点で被害は確認されませんでした。

津波警報は継続しておりますので、引き続き海岸や河口付近には近づかないようにしてください。

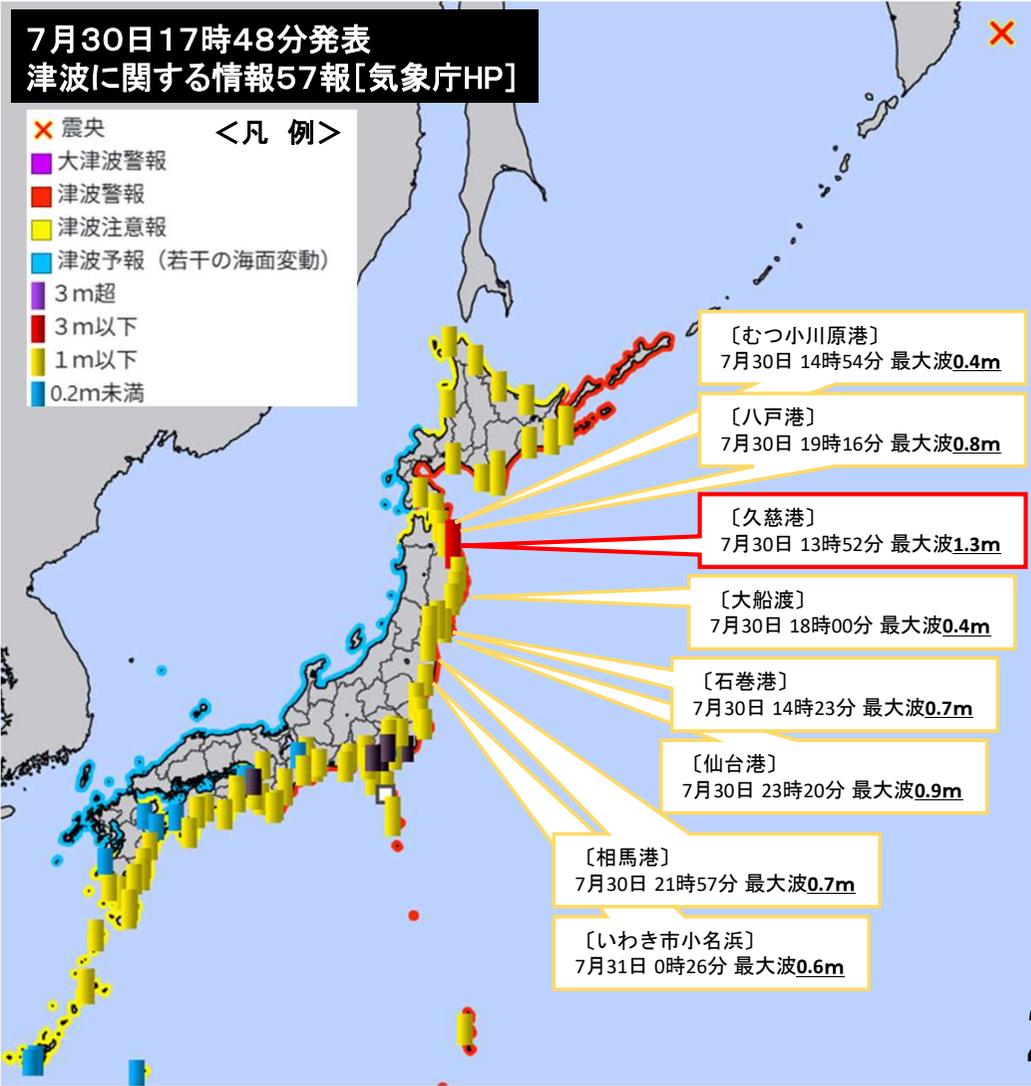
#津波警報  
#避難  
#東北地方整備局  
#国土交通省

午後7:03 · 2025年7月30日 · 2.8万 件の表示

### 地方公共団体へのリエゾンの派遣

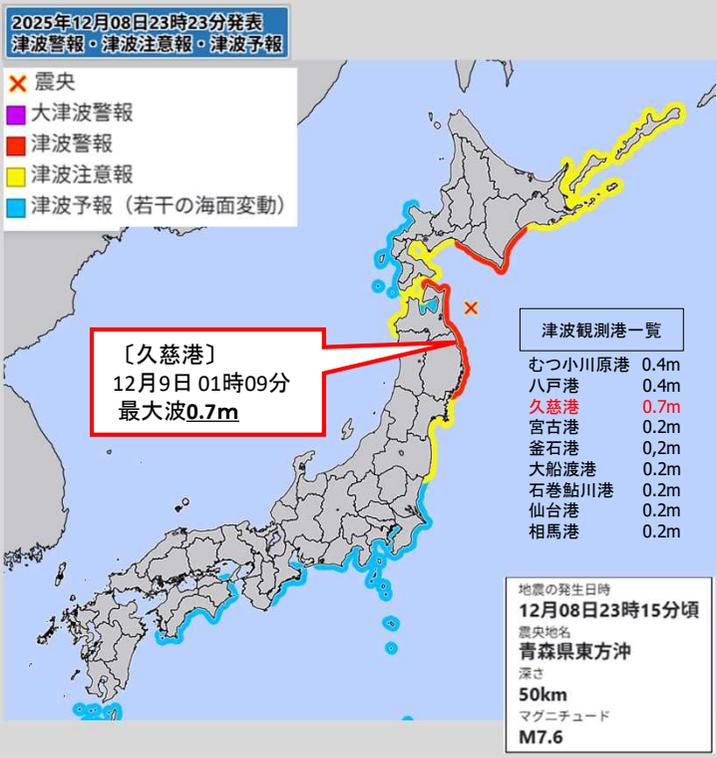


▲青森県庁 災害対策本部会議に出席



**【概要】**

- ・令和7年12月8日23時15分頃、**青森県東方沖を震源とする地震が発生**（最大震度6強《青森県八戸市》震度6弱《青森県おいらせ町、階上町》）
- ・北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県で**津波警報**が発表
- ・同年12月9日2時に気象庁が「**北海道・三陸沖後発地震注意情報**」を発表（呼びかけ期間 12月16日0時まで）



- 1. 地震の概要（令和7年12月8日気象庁報道発表）**
- ①発生日時 12月8日 23時15分
  - ②マグニチュード 7.6
  - ③場所および深さ 青森県東方沖（八戸の東北東80km付近）深さ50km
  - ④各地の震度【最大震度6強】青森県八戸市（はちのへし）で最大震度6強を観測した他、北海道から近畿にかけて震度6弱～1を観測
  - ⑤津波警報等の発表状況 8日23時17分 津波注意報発表 23時23分 津波警報に移行  
9日02時00分 北海道・三陸沖後発地震注意情報

- 2. 体制発令（令和7年12月9日9:00時点）**
- ①災害対策本部 非常体制設置 令和7年12月8日(月) 23時15分
  - ②災害対策支援本部 警戒体制設置 令和7年12月9日(火) 00時25分

- 3. ホットライン（令和7年12月9日9:00時点）**
- ①本局構築状況 3県（青森県、岩手県、宮城県）構築済み
  - ②事務所構築状況 東北3県の20市、23町、6村、計49市町村、構築済み

- 4. TEC-FORCE（令和7年12月15日15:00時点）**
- ①防災ヘリ みちのく号出動 青森県八戸市～岩手県沿岸、八戸市、東北町直轄・補助国道を主に調査（帰還済み）
  - ②リエゾン ・県 青森県（帰還済み）、岩手県（帰還済み）・市町村 震度6強の八戸市をはじめ2市町（町帰還済み）計5自治体へ延べ14人を派遣
  - ③N T T青森八戸ビル 鉄塔復旧に係る技術支援チーム関係（事務局青森県）  
高度技術指導班1名 応急対策班1名 TEC-FORCEパートナー1社

- 5. 一般被害情報**
- ・家屋被害 青森県火災発生2件（令和7年12月10日時点）
  - ・ライフライン 停電 青森県500戸 岩手県300戸（令和7年12月9日0時時点）  
断水 青森県440戸（令和7年12月9日9時時点） 岩手県65戸（令和7年12月9日15時時点）
  - ・鉄道（運休） 新幹線1路線、在来線7路線、私鉄2路線（令和7年12月9日9時時点）

